

2018年度 第1回

中京大学所蔵国書善本展示会

中京大学名古屋図書館は、2018年度の第1回国書善本展示会を下記の日程で開催します。

普段は貴重書庫に置かれて一般には公開されていない貴重な国書です。ぜひご高覧ください。

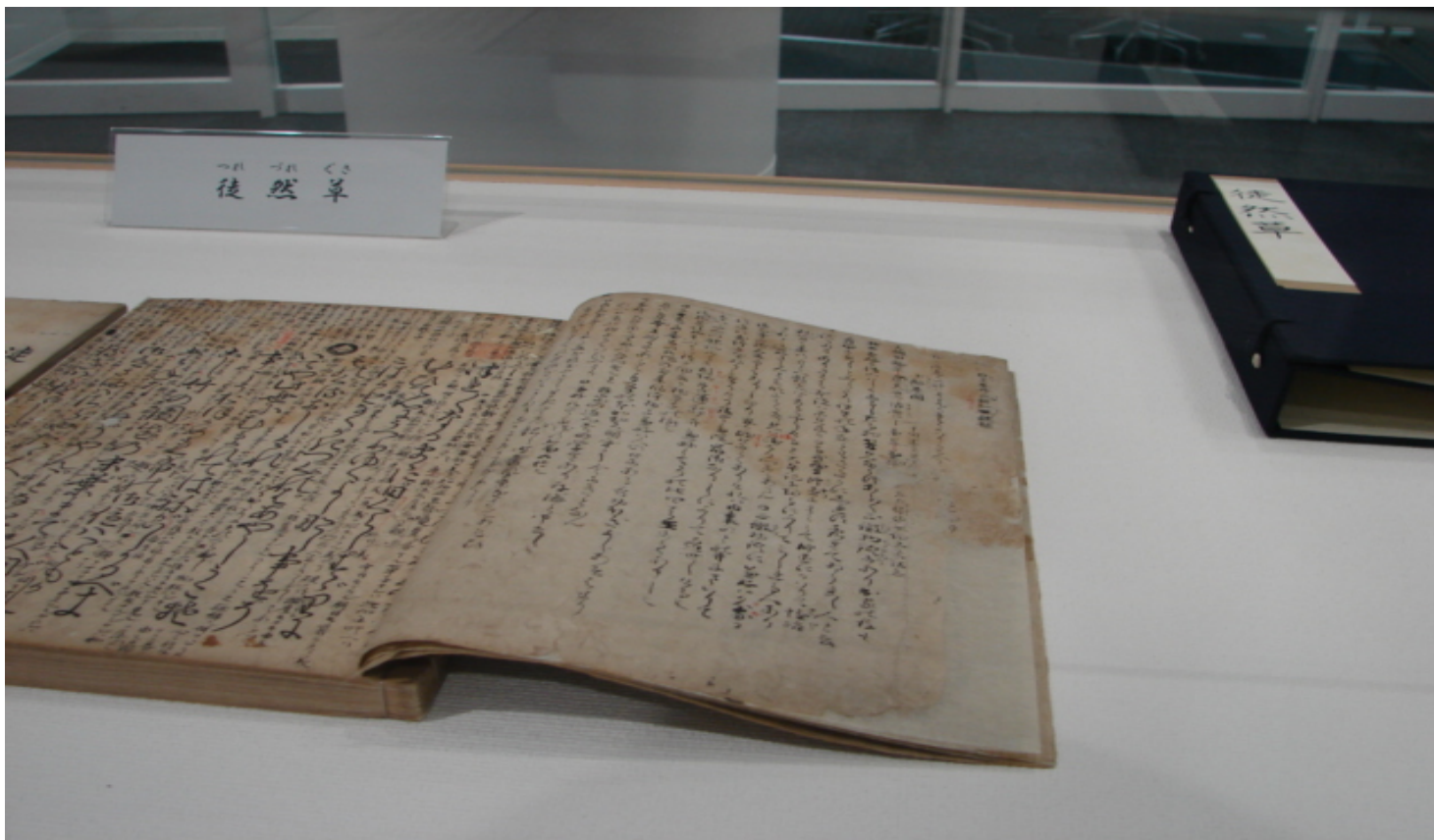
展示場所： 中京大学名古屋図書館1階

展示期間： 5月7日(月)～7月31日(火)

展示作品

つれづれぐさ
1. 徒然草……………江戸前期 2巻2冊

けんこう
兼好法師の著で、鎌倉末期頃に成立した随筆。中京大本は木版画方式のせいばん整版で、
明暦4年(1658)版。仮名草子作家のつじはらげんぼ辻原元甫の作で、刊記には京都の小嶋弥左
衛門と江戸の佐野七左衛門の名が連記されており、最初期の二都版の例と思われる。



2. たなばた……………江戸前期 2巻2冊

御伽草子。文学辞典類では「あめわかみこあめわかみこ」「天稚彦物語」などの書名で立項され

ている。中京大本は江戸時代前期の寛文(1660~73)頃の刊行と思われる松会版。^{まつえ}
松会は、江戸における最初の版元と言われる。



へいけものがたり
3、平家物語……………江戸前期 12巻12冊

鎌倉時代成立の軍記物語。平家一門の興亡を描く。中京本体は、寛永3年(1626)刊で、本文は漢字片仮名交じりの片仮名本。京都一条室町の菊地五兵衛という版元が出版したもの。

